

8/24

疲れ、重荷を負っている者よ、わたしのところに来なさい。  
わたしがあなたを休ませてあげよう。わたしはあなたの身体に蓄積された疲労の深さや範囲や程度をよく知っている。わたしの目から隠れているものは何一つない。必要な状況であれば、疲れをおして頑張るべきときがあるし、また休むべきときもある。無限の力を持つわたしでさえ、天地創造のわざを終えてから、七日目は休んだ。

わたしの顔を仰ぎ求めなさい。そうしたら、わたしがあなたに光を降り注ぐ間、わたしの臨在の中でただゆったり過ごしなさい。お気に入りの聖句を慌てずゆっくりと頭の中に思い巡らし、あなたの心と霊を回復させなさい。もしも忘れてくれないことが思い浮かんだなら、簡単なメモを書きとめておき、それから再びわたしに目を注ぎ直しなさい。あなたがわたしとゆったり過ごすにつれ、わたしの愛が、あなたという存在の奥底までしみ渡っていくであろう。あなたは、わたしへの愛をささやきや話しことば、歌などで表現したくなるかもしれない。

